



# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市大和町下徳良 金丸農地災害復旧工事（444）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書（令和元年8月）広島版
  - ・農業土木共通仕様書（平成29年6月）広島県※ 土木工事共通仕様書、農林土木共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場代理人の常駐義務の緩和

監督員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

- (1) 請負代金額が3,500万円（建築一式工事にあつては、7,000万円）未満
- (2) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間
- (5) 前3号に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他、特に発注者が認めた期間

### 第3節 現場代理人等の兼務

受注者は、三原市が定める「現場代理人及び主任技術者の制度の変更について（令和2年1月6日）」により、現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

<http://www.city.mihara.hiroshima.jp/uploaded/attachment/67063.pdf>

### 第4節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
  - 広島県工事中情報共有システム<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点を把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

## 第2章 施工条件

### 第1節 用地

#### 現場の復旧

原形復旧とする。

### 第2節 施工管理

受注者は、各施工箇所ごとに以下の項目を実施すること。

#### (1) 起工測量の実施

排土面積：施工箇所の面積を実測により確認すること。

排土厚：レベル測量により、排土天端と田面天端を実測により確認すること。測定頻度は10a当り5箇所以上とする。

#### (2) 施工中の確認

排土量は、搬出車両台数等により管理すること。

### 第3節 建設副産物

#### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

#### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

#### 3 産業廃棄物（搬出）

受注者は、流木等を現場外搬出する場合は、産業廃棄物処理計画書を提出し監督員の承諾を得た後に処理しなければならない。

産業廃棄物処理計画書には、次の関係書類を添付しなければならない。

産業廃棄物処理委託契約書（写）

処理業者の許可証（写）

積込・保管施設、中間処理施設、最終処分場までの運搬経路地図及び写真

受注者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されていることを確認するとともに、産業廃棄物処理状況のわかる写真とともに、施工管理資料として提出しなければならない。

また、受注者は平均的な大きさの流木の直径、長さを撮影し、施工管理資料として提出しなければならない。

#### 第4節 その他

##### 1 工事中機資材の仮置き

受注者が責任を持って確保すること。

##### 2 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要にする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

#### 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
	災害復旧工事		式		1	レベル1
	土工		式		1	レベル2
	盛土工		m3		7	レベル3
	盛土	土砂	式		1	レベル4
	排土		式		1	レベル2
	排土		式		1	レベル3
	排土		式		1	レベル4
	排土		m3		1,100	レベル4
	排土運搬		m3		1,100	レベル4
	流木処理		m3		22	レベル4
	流木運搬		m3		22	レベル4
	直接工事費					
	共通仮設費率分額					
	共通仮設費計					
	純工事費					
	現場管理費					
	工事原価					
	一般管理費率分					

# 工事数量総括表

契約保証費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	備考
一般管理費計						
**工事価格計**						
**消費税相当額計**						
**請負工事費計**						

計画平面図 S=1:250



全体面積 (CADによる) (m <sup>2</sup> )	
1	1473.84
2	1473.84
3	1473.84
平均面積	1473.84

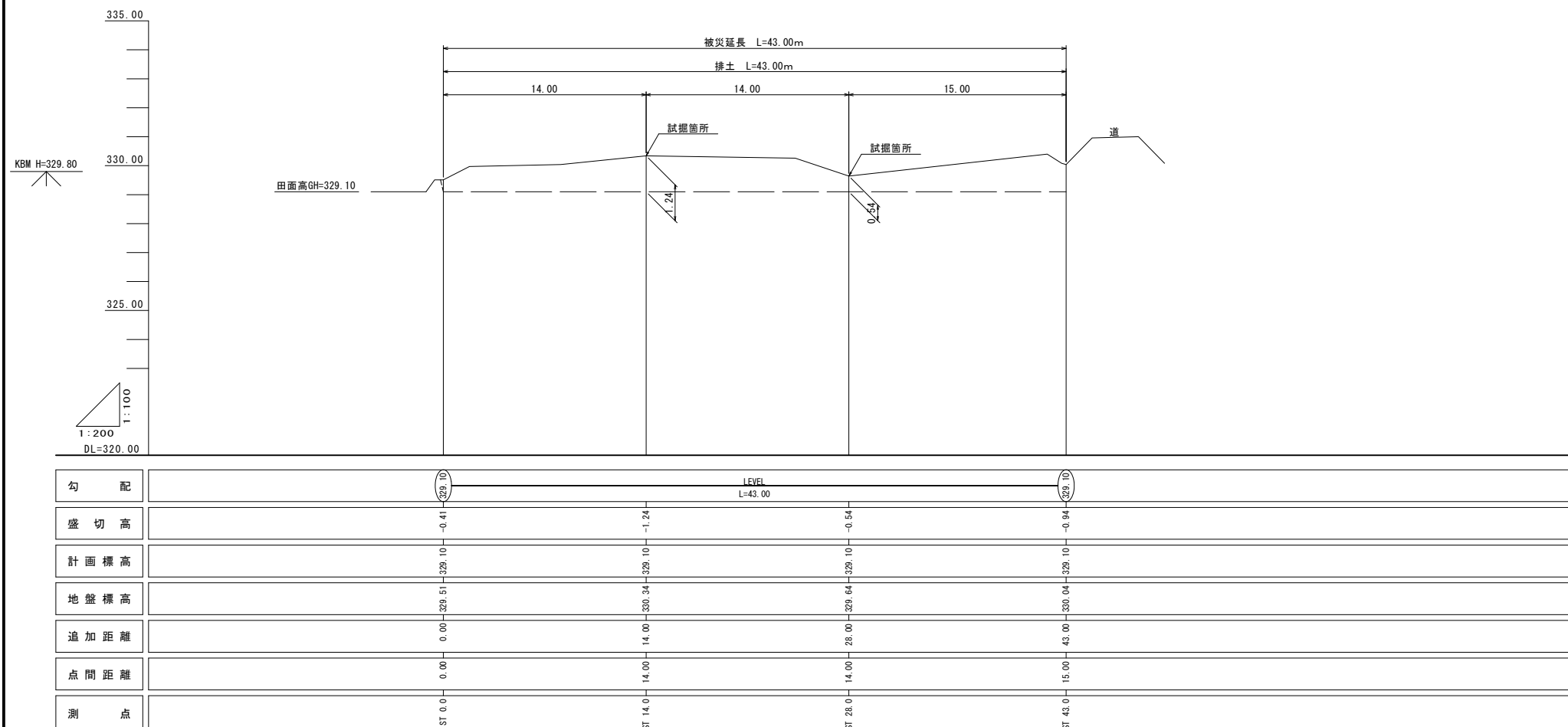
排土面積 (CADによる) (m <sup>2</sup> )	
1	1473.84
2	1473.84
3	1473.84
平均面積	1473.84

排土厚 (m)	
ST14.0	1.24
ST28.0	0.54

背景写真は国土地理院撮影の航空写真を使用

計画縦断面図

V=1:100  
H=1:200



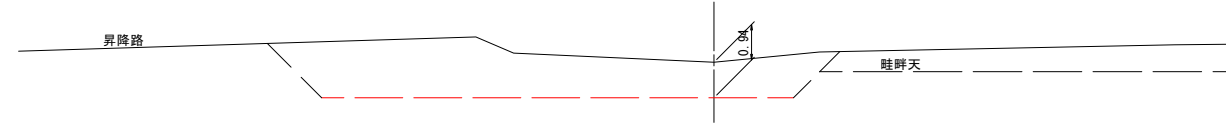
小運搬なし	
図面の名称	図面番号
7月豪雨災害 (7/5~7/7) 大和町 金丸農地 復旧計画図	1 / 2
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	

この図面は実際の図面を約50%に縮小している

計画横断面図 S=1:100

ST 43.0

GH= 330.04  
FH= 329.10

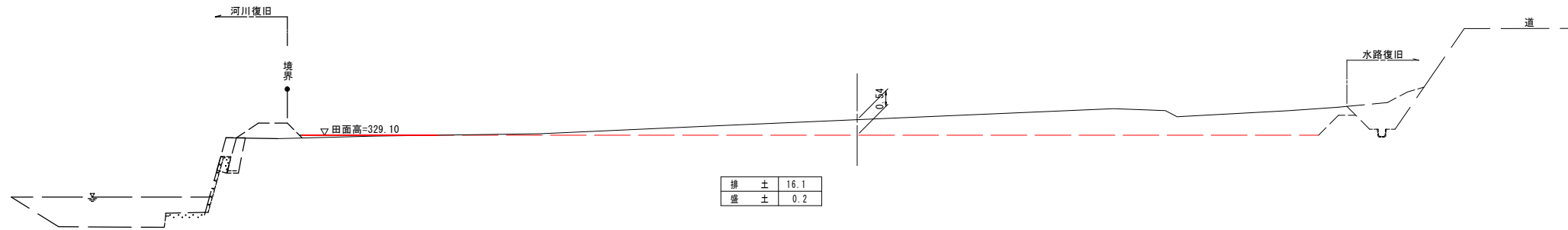


排土	17.3
盛土	0.0

DL=325.00

ST 28.0

GH= 329.64  
FH= 329.10

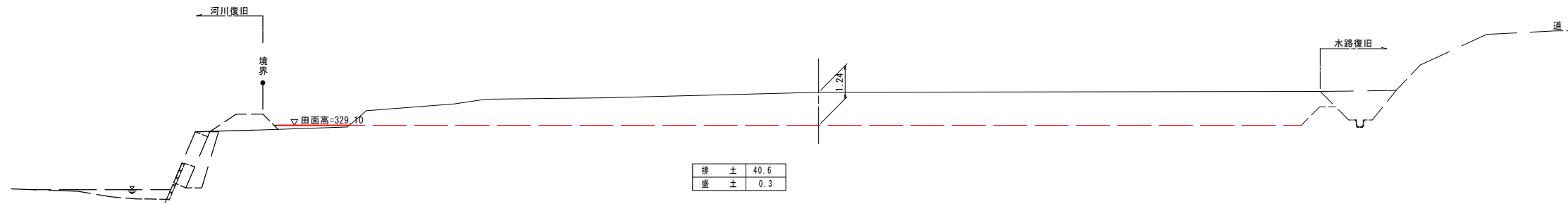


排土	16.1
盛土	0.2

DL=325.00

ST 14.0

GH= 330.34  
FH= 329.10

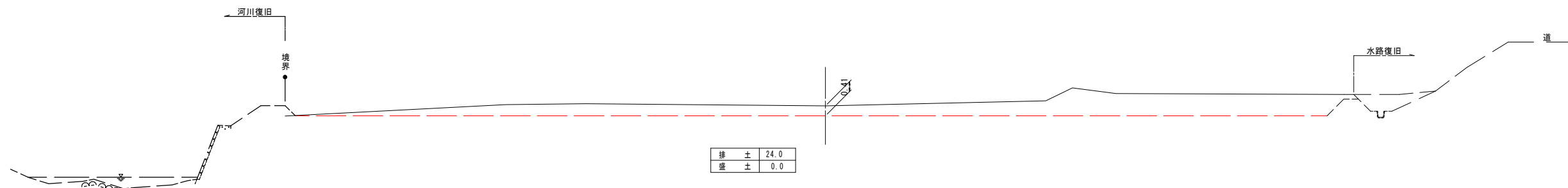


排土	40.6
盛土	0.3

DL=325.00

ST 0.0

GH= 329.51  
FH= 329.10



排土	24.0
盛土	0.0

DL=325.00

444  
204

小運搬なし	
図面の名称	図面番号
7月豪雨災害 (7/5~7/7) 大和町 金丸農地 復旧計画図	2 / 2
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

この図面は実際の図面を約50%に縮小している



# 参考資料

( 金丸農地災害復旧工事 (444) )

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 48 三原市(大和) 00-02.06.01(0)  9 公共(011015~)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分	01 ほ場整備工事 01 千円未満切捨 00 補正なし 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし		

# 本工事費

# 内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	災害復旧工事					レベル1
	土工	1	式			レベル2
	盛土工	1	式			レベル3
	盛土 土砂	1	式			レベル4
	機械併用埋戻（一般）	7	m3			00
	購入土砂(ほぐし) 設計CBR20以上	7	m3			単第 0 -0001号表 00
	排土	10	m3			レベル2
	排土	1	式			レベル3
	排土	1	式			レベル3

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
排土									レベル4	
	1,100			m3						
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満									00	
	1,100			m3					単第 0 -0004号表	
排土運搬									レベル4	
	1,100			m3						
ダンプトラック運搬(標準以外) 4 t 積級ダンプ 運搬距離2.2km 土砂 DID区間なし									00	
	1,100			m3					単第 0 -0005号表	
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる										
建設発生土受入費 土砂									00	
	1,100			m3						
流木処理									レベル4	
	22			m3						
流木処理 平均胸高直径16cm以上22cm未満									00	
	22			m3					単第 0 -0007号表	
流木運搬									レベル4	
	22			m3						



# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率 分						
契約保証費						
一般管理費計						
**工事価格計**						
**消費税相 当額計**						
**請負工事費計**						



# 施工単価表

機械投入 (バックホウ)

SPK19040007

単第 0 -0002号表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.75% 労務構成比:

37.76%

材料構成比: 17.49%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

195.0000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	44.75%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
運転手(特殊)	37.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	17.49%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		





# 施工単価表

掘削  
土砂 オープンカット 押土無し

SPK19040001

単第 0 -0004号表

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 49.10% 労務構成比:

32.84%

材料構成比: 18.06%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

301.9800

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	49.10%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	32.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.06%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 D=2 押土無し F=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット E=1 障害無し		



# 施工単価表

ダンプトラック運転  
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

単第 0 -0006号表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	36.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.16	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.16	供用日			
諸雑費	1	式			
**単位当り**	1	日			
A=2 C=36 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況:良好 労務単価の夜間等割増率		B=1 D=1.16 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	















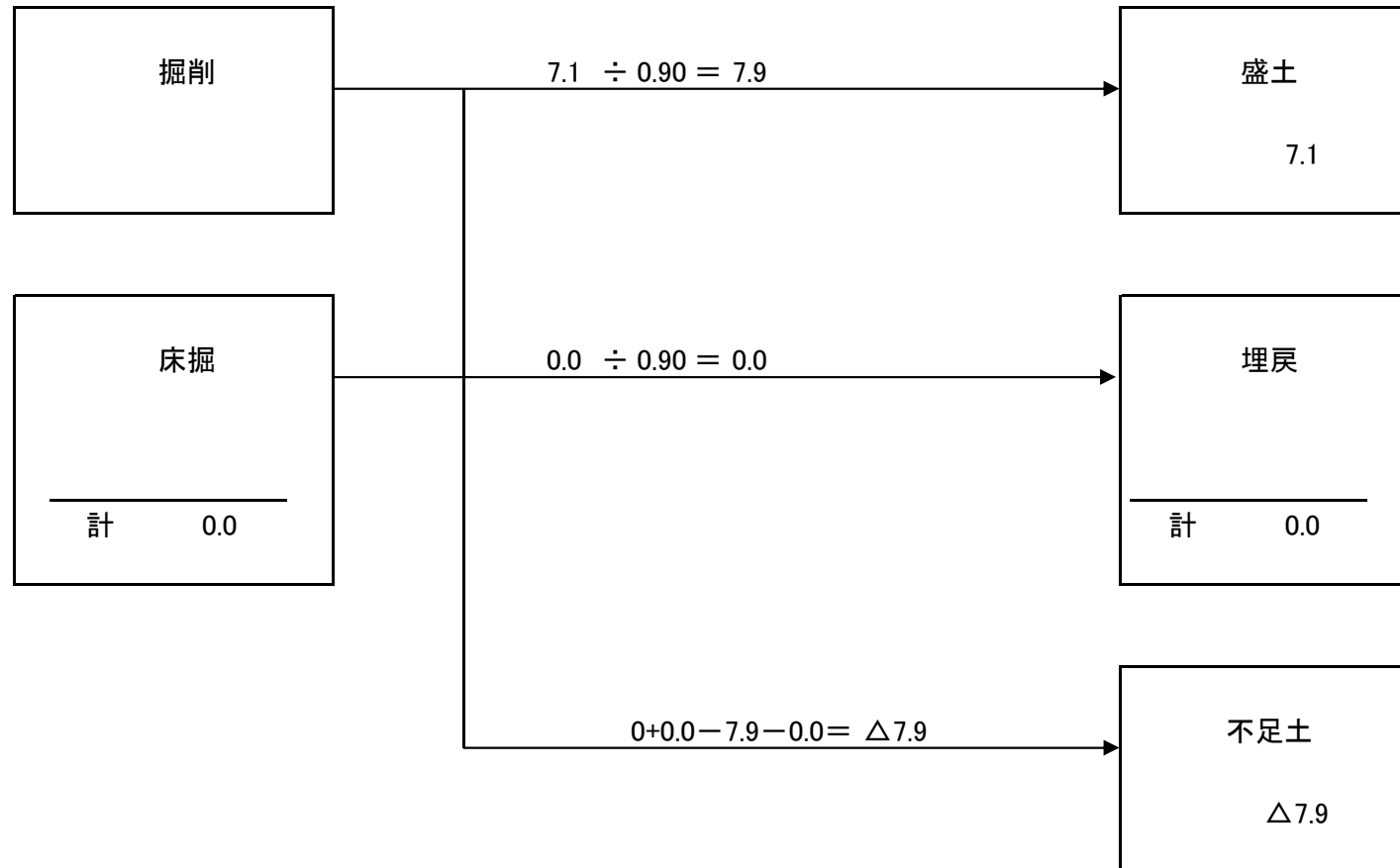


# 数量計算書

( 金丸農地災害復旧工事 (444) )



# 土量配分表





# 各種数量計算書

測点名	距離	排土			流木処理			(流木1本当たりの推定体積)			(10m3当たりの推定本数)		
		断面	平均	数量	土砂体積	%	数量	直径	高さ	数量	流木体積	1本当たり	数量
SECT0.0	0.0	24.0			1,099.6	2.00	22.0	0.20	11.00	0.35	10.0	0.35	29
SECT14.0	14.0	40.6	32.30	452.2				$0.2^2 \times \pi \div 4 \times 11$			10÷0.35		
SECT28.0	14.0	16.1	28.35	396.9									
SECT43.0	15.0	17.3	16.70	250.5									
合計	43.0			1,099.6			22.0						



# 位置図

(緯度34.53959851, 経度132.9361143)



この図は国土地理院地図を使用したものである。